

活動のご報告

令和3年9月上旬～10月中旬のセンター活動内容について報告をいたします。

当センターは、今年度の重要な技術開発課題となっている「長期育成循環施業試験」に係る伐採数量等の確定を図るため伐木選定、樹高調査及び品等区分調査を実施しております。12月上旬には、これら調査が終了し数量等が確定する予定です。

また、昨年度コロナの影響により中止となった森林・林業公開講座を、今年度は12月に開催することとしています。

森林・林業公開講座は、コロナウィルス感染症の蔓延により、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置等が発出された場合等は中止することもあります。開催する場合には、本ホームページに詳細な情報を掲載いたします。

関東森林管理局 森林技術・支援センター

「長期育成循環施業試験」に係る間伐等に関する打合せの実施

令和3年10月13日、茨城森林管理署2階 会議室において、筑波山麓に設定した長期育成循環施業試験地で実施する間伐及び主伐事業の実施方法等について、茨城森林管理署職員と打合せを行い、整理しなければならない問題点が多々あることが解り、解決方法を検討することとします。



令和3年度「山の日」記念行事に参加

令和3年10月15日、「山の日」記念行事実行委員会が主催する「令和3年度「山の日」記念行事 清秋の筑波山と森林アメンティー筑波山散策と講演」が開催され、高梨所長が筑波山京成ホテル会議室において、筑波山麓に設定されている当センターの試験地の紹介及び動画の上映を実施しました。

当日資料及び上映した動画については、アーカイブページに保存しましたので、ご興味がある方はご覧ください。



小川試験地・シカ柵設置説明会に参加

令和3年10月18日、茨城県北茨城市関本町小川の国有林において、国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所が、設けた小川試験地内で現地説明会が開催され、当センター職員も参加しました。

森林総研担当者から、シカの侵入前にシカ柵を複数設置し、シカの侵入後、柵のある箇所、無い箇所で植生へ与える影響を調査したいとの説明があったところです。

